

令和8年台風第25号災害に伴う関係機関の取組



村楳建設工業による
長門川の応急復旧状況



小高興業による
角川の応急復旧が完了



排水ポンプ車での排水状況



鹿島建設による
北印旛沼の荒締切が完了

破堤箇所



移動基地局



熊谷組(日本建設業連合会)に
よる道路啓開作業



給水車による応急給水

停電復旧に向けた道路啓開の状況



- 9月26日から自衛隊、日本建設業連合会、千葉県建設業協会、東京電力PG、関東地方整備局で連携し、道路啓開作業を開始
- 28日から自衛隊が本格的に倒木処理を開始

自衛隊による道路啓開



自衛隊による道路啓開後



鴻池組(日本建設業連合会)による道路啓開作業



太陽工業(県建設業協会)による道路啓開作業



- : 優先的に道路啓開する区間 (29区間)
- : 道路啓開する区間 (37区間)

停電復旧のために道路啓開を実施する区間の対応状況

令和8年9月29日17時時点

県内全体：66区間

第2回時点
(9/27 17:00時点)

第3回時点
(9/29 17:00時点)

うち対応済

9区間 →→ 11区間

【新たに停電復旧が見込まれる軒数】

市原市 月出 約120軒

大網白里市 小中 約210軒

うち対応中

18区間 →→ 24区間

令和 8 年台風第 2 5 号による通信関係被害状況

		9/23(水)	9/24(木)	9/25(金)	9/26 (土)	9/27(日)	9/28(月)
NTTドコモ	エリア 支障	12市町	10市町	10市町	2市	1市	なし
KDDI	エリア 支障	9市町	9市町	7市町	2市	なし	なし
ソフトバンク	エリア 支障	10市町	6市町	2市	2市	1市	なし
楽天モバイル	エリア 支障	6市町	5市町	5市町	4市町	なし	なし
NTT東日本	被害状況	復旧	復旧	復旧	復旧	復旧	復旧

- ◆ 携帯電話基地局の停波により、携帯電話の通話エリアに支障
- ◆ 携帯電話各社にて移動基地局を現地派遣するなど、
9月28日(月)午前7時30分現在、エリア支障は解消

令和 8 年 台 風 第 2 5 号 による 断 水 状 況

時 点	最大断水戸数	断水戸数
9 月 2 1 日 (月) 1 8 時	9 5 戸	9 5 戸
9 月 2 2 日 (火) 1 7 時	4, 3 7 8 戸	4, 0 2 8 戸
9 月 2 3 日 (水) 2 2 時	4, 3 7 8 戸	3, 6 5 5 戸
9 月 2 4 日 (木) 2 1 時	4, 3 7 8 戸	2, 6 2 1 戸
9 月 2 5 日 (金) 1 3 時	4, 3 7 8 戸	2, 5 8 9 戸
9 月 2 6 日 (土) 6 時	4, 3 7 8 戸	1, 9 5 0 戸
9 月 2 7 日 (日) 6 時	4, 3 7 8 戸	1, 2 9 9 戸
9 月 2 8 日 (月) 1 0 時	4, 3 7 8 戸	4 4 9 戸
9 月 2 9 日 (火) 1 5 時	4, 3 7 8 戸	4 4 5 戸
9 月 3 0 日 (月) 6 時	4, 3 7 8 戸	3 9 5 戸

- 停電の長期化が見込まれる 13 市町※に対し、
①発電機 計 170 台 ②大容量蓄電池 計 15 台
を県からプッシュ型で支援
- ※市原市、袖ヶ浦市、君津市、木更津市、富津市、大多喜町、東金市、長南町、
長柄町、睦沢町、鴨川市、南房総市、鋸南町
- 発電機、蓄電池、電源車について、市町村のニーズに対応していく。

千葉県では、令和8年千葉豪雨や台風第25号で降った大雨の影響により、普段であれば災害につながらない程度の雨でも大雨災害が発生するおそれがあります。以下を参考に台風第26号へ備えましょう。

○リスクのある場所や土砂災害や浸水が発生した地域などを確認しよう

- ・「ちば情報マップ」や市町村が作成している「ハザードマップ」では、土砂災害や浸水が想定される区域などを地図から調べたり、避難場所を確認することができます。自分の住んでいる地域にどのような災害リスクがあるかを確認しておきましょう。
- ・特に8月千葉豪雨や台風第25号で土砂災害や浸水が発生した地域では、避難指示等が発令される前であっても、周辺の状況を十分確認し、危険を感じた場合には、ためらうことなく、早めに安全な場所へ避難してください。

○備蓄品を用意しよう

- ・災害発生時は、電気・水道などのライフラインや、物流が止まることがあります。最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄品を用意しましょう。

○連絡手段を確認しよう

- ・日中に災害が発生した場合、家族と一緒にいるとは限りません。また、災害発生時は携帯電話がつながりにくくなることがあります。家族や大切な人と、事前に連絡手段を話し合っておきましょう。

○警戒レベル4で全員避難！

- ・水害や土砂災害の発生の恐れがあるときは、5段階の「警戒レベル」が発令され、テレビやラジオ、防災行政無線からお知らせします。
- ・「警戒レベル5」では、安全な避難ができません。「警戒レベル4」の「避難指示」で危険な場所から全員避難し、避難に時間がかかる方は「警戒レベル3」の「高齢者等避難」で行動しましょう。